まほろば秦野通信

令和元年５月９日

タイトル	**参加者募集**　**平和の大切さ・戦争の悲惨さを考える夏休み親子ひろしま訪問団**
Ｗｈｅｎ （いつ）	申込期限：５月３１日（金）午後５時まで 訪問期間：８月５日（月）～７日（水）２泊３日
Ｗｈｅｒｅ （どこで）	広島平和記念公園ほか平和関連施設
Ｗｈｏ （だれが）	市内在住の小学４年生から中学３年生とその保護者５組１０名
Ｗｈａｔ （なにを） Ｈｏｗ （どのように） Ｗｈｙ （なぜ）	訪問団員として原爆被災地・広島へ行き、８月６日に開催される「広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式」へ参列するとともに、平和記念資料館や原爆ドームなどの見学や語り部（被爆者）からの体験談の聴講などを通じて、戦争の悲惨さやおろかさ、平和や命の大切さへの理解を深めます。 ＜参加者負担金＞ ・中学生の親子：６万円　・小学生の親子：５万５千円 ＜申し込み方法＞ 市ホームページまたは文化振興課・公民館・図書館・文化会館・こども館にある申込書に必要事項を記入し、文化振興課に郵送、ＦＡＸまたは持参する。
過去の実績	戦後５０年を迎えた平成７年にスタートし、今年で２５回目。 これまで２３０人の親子が現地を訪れ、自分の目で被爆地「ヒロシマ」を見聞し、平和や命の大切さを改めて考える機会となっています。 また、毎年、市立幼稚園及びこども園の園児や市民が平和への願いを込めて作成した千羽鶴を、団員が平和記念公園内の「原爆の子の像」に捧げることによって、市民の思いを「ヒロシマ」へ伝えています。
今後の取り組み	８月１７日（土）に、文化会館で開催される「はだの平和の日のつどい」の中で、訪問団の活動報告を行います。 また、訪問団が体験した内容を「訪問の記録」としてまとめ、市内の小中学校や公共施設に配布し、団員の体験を多くの市民に伝え、平和や命の大切を考えるきっかけとしていきます。
問い合わせ	文化振興課文化交流担当：福島 電話０４６３（８６）６３０９